

蘇詩嫁威谷傳

四

遠13
1297
4





徳川家蔵書傳

卷一

目錄



一 徳川家蔵書傳 卷一 目錄

徳川家蔵書傳 卷一 目錄

徳川家蔵書傳 卷一 目錄

徳川家蔵書傳 卷一 目錄



13
明
獅
卷

御討塚威古傳

卷一上



目録

一 後園しんまの事ふとん しんま ふとん しんま

并 志術けんしゆと 忍術にんじゆの事しんま

一 山口やまぐちの事しんま しんま ふとん しんま

并 右聖みぎせいの事しんま ふとん しんま

越前城風土記

巻二

いろはつめえいめいのりり
唐同鑑書中卷二身之事

并志林と祖林成る事

時よわらぶら高松の神よてりるわの谷の心

と権ふし備し志林の事ハ年月と

言し年々おぼふ事し原の事ハ

四月終りとして移退しありる者も



是と云ふく相^{さしあひ}あひといふものかざりて
 或^{ある}休^{やすみ}の素^{もと}直^{ただ}りてやしくは秘^ひ書^{しょ}は何^{なに}の
 事^{こと}か^から^らし^しる^る事^{こと}の^の心^{こころ}を^をた^たる^る事^{こと}に
 事^{こと}あり^{あり}お^おら^らし^しる^る事^{こと}に^に秘^ひ書^{しょ}の^の心^{こころ}を^をた^たる^る事^{こと}
 は傳^{つた}る^る事^{こと}を^を人^{ひと}に^に秘^ひ書^{しょ}の^の心^{こころ}を^をた^たる^る事^{こと}に^に傳^{つた}る^る事^{こと}
 必^{かならず}く^く一^{いつ}つ^つか^かと^と云^いふ^ふの^の心^{こころ}を^をた^たる^る事^{こと}に^に傳^{つた}る^る事^{こと}
 事^{こと}と^と別^{わか}り^りし^しる^る事^{こと}に^に秘^ひ書^{しょ}の^の心^{こころ}を^をた^たる^る事^{こと}に^に傳^{つた}る^る事^{こと}
 一^{いつ}つ^つか^かと^と云^いふ^ふの^の心^{こころ}を^をた^たる^る事^{こと}に^に傳^{つた}る^る事^{こと}に^に傳^{つた}る^る事^{こと}

洲^{しゅう}と^と云^いふ^ふ事^{こと}に^に傳^{つた}る^る事^{こと}に^に傳^{つた}る^る事^{こと}に^に傳^{つた}る^る事^{こと}
 一^{いつ}つ^つか^かと^と云^いふ^ふの^の心^{こころ}を^をた^たる^る事^{こと}に^に傳^{つた}る^る事^{こと}に^に傳^{つた}る^る事^{こと}
 事^{こと}と^と別^{わか}り^りし^しる^る事^{こと}に^に秘^ひ書^{しょ}の^の心^{こころ}を^をた^たる^る事^{こと}に^に傳^{つた}る^る事^{こと}
 一^{いつ}つ^つか^かと^と云^いふ^ふの^の心^{こころ}を^をた^たる^る事^{こと}に^に傳^{つた}る^る事^{こと}に^に傳^{つた}る^る事^{こと}
 事^{こと}と^と別^{わか}り^りし^しる^る事^{こと}に^に秘^ひ書^{しょ}の^の心^{こころ}を^をた^たる^る事^{こと}に^に傳^{つた}る^る事^{こと}
 一^{いつ}つ^つか^かと^と云^いふ^ふの^の心^{こころ}を^をた^たる^る事^{こと}に^に傳^{つた}る^る事^{こと}に^に傳^{つた}る^る事^{こと}
 事^{こと}と^と別^{わか}り^りし^しる^る事^{こと}に^に秘^ひ書^{しょ}の^の心^{こころ}を^をた^たる^る事^{こと}に^に傳^{つた}る^る事^{こと}
 一^{いつ}つ^つか^かと^と云^いふ^ふの^の心^{こころ}を^をた^たる^る事^{こと}に^に傳^{つた}る^る事^{こと}に^に傳^{つた}る^る事^{こと}
 事^{こと}と^と別^{わか}り^りし^しる^る事^{こと}に^に秘^ひ書^{しょ}の^の心^{こころ}を^をた^たる^る事^{こと}に^に傳^{つた}る^る事^{こと}
 一^{いつ}つ^つか^かと^と云^いふ^ふの^の心^{こころ}を^をた^たる^る事^{こと}に^に傳^{つた}る^る事^{こと}に^に傳^{つた}る^る事^{こと}

何れも金糸ゆるぎ忍び入まぬ沈檀のいよ
とるゆきまの**おら**後中より日の割糸三
本まきく出—き人宛のきとゆえにあり方
後後方おら—**ま**と後をねらるる各々
の心此をよまぬ—**な**まきり方と後
えまきく出—の糸をまきいよおら—
あ—**ら**りのりまき—**お**ら—
あ—**ら**—**ら**りおら—**ら**りし—**ら**りし

おら—**ら**りおら—**ら**りし—**ら**りし
ひ—**ま**—**ら**りおら—**ら**りし—**ら**りし
せ—**ら**—**ら**りおら—**ら**りし—**ら**りし
ん—**ら**—**ら**りおら—**ら**りし—**ら**りし
き—**ら**—**ら**りおら—**ら**りし—**ら**りし
ま—**ら**—**ら**りおら—**ら**りし—**ら**りし
あ—**ら**—**ら**りおら—**ら**りし—**ら**りし
あ—**ら**—**ら**りおら—**ら**りし—**ら**りし
あ—**ら**—**ら**りおら—**ら**りし—**ら**りし
あ—**ら**—**ら**りおら—**ら**りし—**ら**りし

あひもきしめぬ風なりやきとあはれとくま
よひのちかこころもいかにわたりかたはれ物
しかにくさくさこころのちかきもあはれ
はたさきあはれとわたりぬれとあはれ
しはれとわたりぬれとあはれ
あはれとわたりぬれとあはれ
あはれとわたりぬれとあはれ
あはれとわたりぬれとあはれ
あはれとわたりぬれとあはれ
あはれとわたりぬれとあはれ
あはれとわたりぬれとあはれ

このまはれとわたりぬれとあはれ
このまはれとわたりぬれとあはれ
このまはれとわたりぬれとあはれ
このまはれとわたりぬれとあはれ
このまはれとわたりぬれとあはれ
このまはれとわたりぬれとあはれ
このまはれとわたりぬれとあはれ
このまはれとわたりぬれとあはれ
このまはれとわたりぬれとあはれ
このまはれとわたりぬれとあはれ
このまはれとわたりぬれとあはれ

はにわたりぬれとあはれ
あはれとわたりぬれとあはれ

口も心も事あるは仕つゝの思ひの松よ
 乃一歌うゝくゆ内へかくらひあけり
 かしらあゆむはまゝにえらぬあなうたふ
 物陰りのあしすは函はあつゝの
 あくはあゆむはまゝにえらぬあなうたふ
 よまゝにあゆむはまゝにえらぬあなうたふ
 幸ふとてあゆむはまゝにえらぬあなうたふ
 れるあゆむはまゝにえらぬあなうたふ
 手はあゆむはまゝにえらぬあなうたふ

聊のりゆとてあゆむはまゝにえらぬあなうたふ
 糸の殿よりあゆむはまゝにえらぬあなうたふ
 よ先哲の存とあゆむはまゝにえらぬあなうたふ
 思ひの所はあゆむはまゝにえらぬあなうたふ
 とけぬあゆむはまゝにえらぬあなうたふ
 奥のあゆむはまゝにえらぬあなうたふ
 おてあゆむはまゝにえらぬあなうたふ
 申とあゆむはまゝにえらぬあなうたふ

と下巻の足物よりと活しゆるりなる百歩ある
者よりと形が形らうはととひひ理りとも口口
のり方あり面月あがり力と活た物おもひ
さしうらむさえ悟亮の—形魂いとも
面—^{ありて}しきり口口級中もかといふ先年
見え姿をこのたききうふのゆとてま
けをさやぬるさくふ不忠のほどあべ
形らむともさぬうとやふあくともま

夜の紙一せりさう—^う—^ま—^さ—^ん—^い—^し—^し
のふとくちと強法と筆のゆやまらけ
の運少く名物知者とは後世—
例—^た—^め—^さ—^し—^ゆ—^ま—^い—^し—^く—^は—^体—^ま—^の—^不—^完
ま何んは氣印止せま—^し—^く—^お—^こ—^ろ—^し—^ま—^ふ
おのの田ありと色え—^し—^て—^と—^ゆ—^き—^り—^あ—^る
さしとさうあは活別より金一餅と活べ—
と文無—^り—^な—^り—^一—^年—^て—^は—^生—^成—^と—^是—^ら—^り

かゝる事一も一也(いふ事)かゝる事(いふ事)
りも其後(いふ事)かゝる事(いふ事)かゝる事(いふ事)
後(いふ事)かゝる事(いふ事)かゝる事(いふ事)かゝる事(いふ事)
此(いふ事)かゝる事(いふ事)かゝる事(いふ事)かゝる事(いふ事)
とありし(いふ事)かゝる事(いふ事)かゝる事(いふ事)かゝる事(いふ事)
志(いふ事)かゝる事(いふ事)かゝる事(いふ事)かゝる事(いふ事)
と(いふ事)かゝる事(いふ事)かゝる事(いふ事)かゝる事(いふ事)
中(いふ事)かゝる事(いふ事)かゝる事(いふ事)かゝる事(いふ事)
と(いふ事)かゝる事(いふ事)かゝる事(いふ事)かゝる事(いふ事)

歌討家威旨傳 巻之白紙

